

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらりはーと平塚OSC		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	① 個別ニーズに基づいた柔軟な支援プログラムの提供 アセスメントシートや日々の行動観察に基づき、個々の発達段階や課題に合わせた「放課後等デイサービス計画」を作成している。	集団活動の中にも個別の課題を組み込み、本人の状態に応じて個別・集団活動を柔軟に切り替えるなど、一人ひとりに寄り添った支援を工夫している。	今後は、この個別支援の質をさらに高めるため、モニタリング結果の分析精度を上げ、より細やかな計画更新へと繋げていく。
2	② チーム力向上を目的とした組織的な振り返り体制 支援の質を均一に保つため、サービス提供前後の打ち合わせを毎日欠かさず実施し、職員間での情報共有と役割分担を徹底している。	全員が業務改善（PDCAサイクル）に参画し、現場の気づきを即座に支援内容へ反映させる体制を意識的に構築している。	今後は、職員個々の専門スキルをさらに平準化するため、内部研修の回数を増やし、どの職員が担当しても質の高い支援が提供できる体制を強化する。
3	③ 信頼関係を深める多角的な情報発信と共有 送迎時の対面報告に加え、SNS（Instagram・Facebook）を活用して日々の活動内容を視覚的に発信し、事業所での過ごし方を可視化する取組を行っている。	保護者の意向を汲み取り、迅速に業務改善に繋げる姿勢を大切にしていく。	今後は、デジタルツールの活用範囲を広げるとともに、対面での面談機会をさらに充実させ、家庭と事業所の双方向による一貫した支援体制をより強固にする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	① 地域社会および関係機関との連携不足 児童発達支援センターや他の福祉サービス事業所、地域住民との連携・交流が少なく、地域に開かれた運営が十分ではない。	日々の直接支援業務を優先するあまり、外部ネットワーク構築のための時間を十分に確保できていなかったことが要因である。	今後は、自立支援協議会等への積極的な参画や、地域の行事への関わりを計画的に増やし、地域全体で子供を支える体制作りを推進する。
2	② 家族支援プログラムおよび保護者間交流の未実施 ペアレント・トレーニングなどの学習機会や、保護者同士が悩みを共有できる交流会の開催が実行できていない。	開催の意向はあるものの、運営スタッフの配置や具体的なプログラム構成の検討が不足していたことが課題である。	今後は、オンラインによる短時間の勉強会や、少人数での茶話会から段階的に実施し、保護者の心理的負担の軽減と孤立防止に繋がる支援を開始する。
3	③ 専門的な安全管理研修とハード面のバリアフリー対応 安全計画に基づく職員研修や訓練の内容が不十分であり、また施設設備の一部にバリアフリー化が至らない箇所が残っている。	日々の避難訓練（年2回）等の基礎的な取組に留まり、より高度で専門的なリスクマネジメント研修への着手が遅れていたことが要因である。	今後は、外部講師の招聘や専門研修への派遣を体系化するとともに、ハード面の不備を運用の工夫や設備改修の検討によって補い、より安全な療育環境を整える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きらりはーと平塚OSC

公表日 2026年3月1日

利用児童数 2026/2/1現在62

回収数 35

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34			1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	3	5	11		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35				基本的には問題ありませんが、利用規程が変更になった際は都度お知らせいただけると助かります。	利用規定などの変更の際は「変更同意書」にて説明を行っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	2	11		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	34	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	2		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33			2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	6	3	14		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29			6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	1		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33			2	わからない、けがしたことないです！	前後の状況を確認し、報告しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33		1	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32			3		
	29	事業所の支援に満足していますか。	35				少しずつできることが増えていてとても嬉しいです。本人も活動に参加できることが増えているよなのでこれからも継続していけたらと思います。	1人1人の「できること」に合わせた支援を行っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きらりはーと平塚OSC				公表日	2026年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		構造化はされているが、バリアフリーとしては適切ではない部分がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて使用できる環境になっている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	必ず全員が参画できるよう調整している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	把握する機会を設けている 保護者の意向を取り入れ、改善につなげている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	適宜意見を把握しており、業務改善に意見を取り入れて実行している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者による外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間を通して様々な研修会を行っている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメントシートを用いて適宜行っている 面談を通してニーズを把握し計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	会議を開催し目的を共有している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	全員で把握する機会を設けている 計画に沿った支援が全員行われているかは疑問あり		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントシートを用いて行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	要件を満たした内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	年間プログラムを作成する際に、偏りのないよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	必要に応じて集団から個別に切り替えるなど、こどもの状況に合わせた工夫をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日必ず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日必ず行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングを適切に行い、必要に応じて見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	組み合わせた活動を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自己選択・自己決定を育てるための環境設定を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	6		体制は整えているが、連携自体は行っていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6		移行支援が必要な児童がいない為、情報共有は行っていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6		対象者がいない為、行っていない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に本日の様子を伝えると共に、最近の状況を聞き取りしている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		現状行っていない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6		開催の予定はあるが、実行できていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	InstagramやFacebookを用いて活動状況を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫で管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		行えていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	年に2回の避難訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年に2回の避難訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	面談時にフェイスシートを用いて確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者を通じて情報を得て対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		研修や訓練が不十分
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	6	計画書には記載しており、説明も行っている	対象者がいない為、行っていない	